

社会生活（メモの取り方と活用）

話を正確に聞き取り、メモを活用する指導

小出特別支援学校川西分校（高等部） 齊藤 英徳

目標・方法

目標：メモを手掛かりにして質問に答える。

- 行動全体への**注意**、結果の**記憶** → **認知的負荷**

方法：グループ別に学習する。

- 聞き取りワークシートを使用（市販）する。
- 高等部1年生23名から**生徒A・B**を抽出する。

「社会生活」：「話のポイント聞き取る」

- ① 注意を向けて聞く。（予測・切替え）
- ② キーワードを探る。（選択）
- ③ 短く、素早く、丁寧に書く。（情報を抑制）
- ④ メモを見て、質問に答える。（確認・評価）



学習環境・支援

B・C共通（Aは、別課題）

- 教師が**1回のみ**話し、**5秒程度**の間を取る。
- メモの取り方・文字の配置等の**手本**を示す。

Bグループ

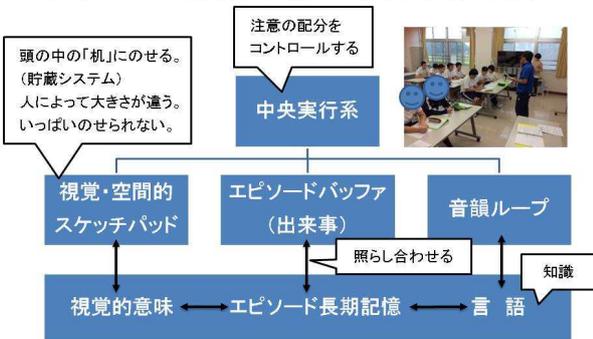
- 質問内容・選択肢がある**ワークシート**を示す。
- 答えがイメージできるような**図**を示す。

Cグループ（生徒A・B）

- **言葉で伝えるのみ**（支援を減らす）。
- 質問では、**図の手掛かり**をなくす。

ワーキングメモリの構造

目標に向けた情報の処理と一時的な事柄の保持



ワーキングメモリに配慮した手立て

1 情報の整理

目標設定「(生徒が主語で)～する。」
手順やルールを示す。
具体的なメモの仕方(文字の配置)

2 情報の最適化

課題量・難易度を調節する。
活動を区分し、メモ取る時間を確保。
質問を選択式にする。

3 選択的注意

学習の流れ明示・「始めます」と予告。
聞き取った内容を復唱(リハーサル)。
キーワード(5W1H)を探る。

4 記憶のサポート

メモ帳を持参し、活用場面を示す。
言葉と経験等の関連付けをする。

結果

表1 「話のポイント聞き取る」の結果

時数	NO.	題名	生徒A				生徒B				
			問1	問2	問3	問4	問1	問2	問3	問4	
1	1	あそびの約束(練習)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	ピアノの発表会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	ドッジボール大会	×	○	○	○	○	○	○	○	○
2	4	けが	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	香辛料	×	○	×	×	○	○	○	○	○
	6	水やり	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	7	こままわし	○	○	○	○	×	○	○	○	×
	8	洗ひきれ?	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	しゅくたい	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	11	町たんけんのおそうじ	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	花火大会	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	12	かん字テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	教室そじ	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	14	うんどう会	○	○	○	×	○	○	○	○	○

生徒A 「いつ」「どこで」「いくつ」等の情報を聞き逃す。
生徒B 話の最初の場面に注意が向かず、ポイントを聞き逃す。

今後の指導・支援

生徒A

生徒B



生徒A

- 日常生活の中で「いつ」「どこで」「何を」等を整理して会話する。
- 言葉と**長期記憶(経験)**と関連させて指導する。

生徒B

- 活動の切り替え場面で、人・物に**注意**を向けるようにする。
- **復唱**する場を**繰り返**しもつ。
- 文字全体の**バランス**を指導し、見やすくする。